



第廿年

シテ面 徳義

舟車自

梅左衛門

舟車テ 徳義 舟車自

後ニ面 舟車 阿比留 手紙

巨イ半載

一ノイヒギツシ多舟ニ柱先ノ出ス

舟ニ乗テ

正ノ高

先ハ山田久保トイフ

使舟ハ

オヒトシト

正ノ

宮モ

トイフ

舟

去橋ノ

渡

トイフ

是ノ

又ノ

トシク

右ノ

ミテ

分シ

区

ヨリ

寸亦

上

ラ

テ

カ

シ

以テ

後

林

山

王

社

此

数

少

ト

出

シ

中

ノ

事

ト

言

フ

此

数

少

ト

出

シ

此

数

少

ト

出

シ

此

数

少

ト

出

シ

此

数

少

ト

出

シ

此

数

少

ト

出

シ

此

数

少

ト

出

シ



ツナヌカレ共ニテリト袖をシテワキツ見 兼平ル
まカレテ右へ廻リシテ左ノキワニテヤ廻リ正へ同袖を
右へニ返

~~兼平~~

有柳ト右ニツニ返又入

